

## はじめに

UNITWIN/UNESCO Chairs は、国連教育科学文化機関 (United Nations Educational, Scientific, and Cultural Organization, UNESCO) による国際的な高等教育機関の連携プログラムであり、国境を超えた高等教育の連携を通じた南北協力・南南協力の促進を目指すものです。1992 年に事業が始まり、2008 年 1 月現在で 632 のユネスコチェアと 67 の UNITWIN ネットワークが 125 カ国の 760 以上の機関に設立され、活動を行っています。

岡山大学は、2006 年度に「岡山大学ユネスコチェア『持続可能な開発のための研究と教育』 (UNESCO Chair in Research and Education for Sustainable Development at Okayama University)」の名称で UNESCO に対してユネスコチェアの設置申請を行い、2007 年 4 月に正式認可を受けました。岡山大学ユネスコチェアは、その名称に示されるように、「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development, ESD) に関する事業の推進を目的としています。2007 年 (平成 19 年) 度から岡山大学ユネスコチェアとしての事業を開始し、丸 2 年の活動を実施してきたこととなりますが、岡山地域のみならず、全国レベル・国際レベルの会合への参加を通じて、岡山大学ユネスコチェアの取り組みの周知が進みつつあります。

ESD は、経済発展、社会の公正、環境保全、伝統文化の伝承の観点から社会をより良く変革させ、次世代に受け渡すのに必要な価値観や技能、ライフスタイルを学ぶ実践的な教育活動です。現在、学校教育のみならず、社会教育、高等教育、企業内研修、メディアなど、様々な場で ESD が必要とされ、UNESCO が主導して世界中で取り組みが始まっています。

岡山大学ユネスコチェアは、ESD 推進のために、次の事業目標を掲げています。

1. 国連機関で環境専門家として働くことを希望し、地球規模で持続可能な社会を構築することに貢献する意思を有する専門家を養成する。
2. 地域において持続可能な社会を実現させるために、適切な環境を創造するための活動に従事する専門家を養成する。
3. 地域、国内、国際レベルでの持続可能社会の創造に貢献するように、岡山大学のカリキュラムを再編成する。
4. 大学間協力に基づき、開発途上国からの留学生や専門家に対して、環境保全についての技術や知識を移転させるための実践的な教育を行う。

岡山地域は、2005 年 6 月に「ESD に関する地域拠点 (Regional Centres of Expertise on ESD, RCE)」として世界で初めて認定され、NGO、市民団体、行政、学校、公民館などが連携して、ESD の推進に積極的に取り組んでいます。岡山大学ユネスコチェアは、RCE 岡山の関係団体、並びにユネスコ、文部科学省、国連大学等と連携しながら、学内のみならず、岡山・瀬戸内地域、そしてアジア太平洋地域で ESD 関連事業を推進しております。

最後に、2008 年 (平成 20 年) 度報告書の刊行に際して、岡山大学ユネスコチェアによる事業にご協力いただいた関係機関及び関係者各位に深甚なる謝意を表するとともに、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2009 年 3 月 23 日

岡山大学ユネスコチェア・チェアホルダー 阿部 宏史  
(岡山大学大学院環境学研究科長)

## 目次

### はじめに

1	学内における活動：経過と報告	
1	岡山大学における活動	
1	岡山大学における ESD カリキュラムの整備	・・・ 1
2	ESD 特別講義：Desertification Control and Sustainable Use in Plant Ecosystem of Mongolia	・・・ 3
3	ESD 特別講義：流域と水環境の持続可能性	・・・ 5
4	ESD 特別講義－客員教員（Bernard Hang'ombe 博士）招聘事業	・・・ 7
5	「2050 年岡山担い手塾」実施報告	・・・ 8
6	ESD 講座「岡山もぐもぐプロジェクト」について	・・・ 10
7	国連人口基金へのインターンシップ	・・・ 12
8	ESD リーダー養成を目指した教員研修プログラムの研究と開発	・・・ 14
9	遠隔会議システム／e-learning について	・・・ 17
10	岡山大学 ESD 研究フォーラム	・・・ 23
2	他大学・学外機関との連携	
1	パラオ政府との覚書の締結と協力事業	・・・ 25
2	岡山大学と岡山市、岡山 ESD 推進協議会の連携事業について	・・・ 28
3	オランダ・ユネスコ会議参加報告、及びリューネブルク大学訪問	・・・ 29
4	アジア太平洋地域 ESD 専門家会議参加報告	・・・ 31
5	ProSPER.Net への参加と発足記念式典・調印式の開催	・・・ 33
6	HESD フォーラム 2008 の参加報告	・・・ 39
7	ESD 国際フォーラム 2008 の参加報告	・・・ 48
2	地域での活動：経過と報告	
1	学会との連携	
1	日本沙漠学会 第 19 回学術大会	・・・ 60
2	日本グローバル教育学会 第 16 回全国研究大会	・・・ 62

2	地域における ESD 活動	
1	岡山市京山地区 ESD 推進協議会との連携	64
2	第 4 回岡山市京山地区 ESD フェスティバル	74
3	文化遺産・文化財に親しむための美術館ワークショップ	77
4	平成 20 年度池田家文庫こども向け岡山後楽園発見 ワークショップの実施報告	81
3	海外での活動：経過と報告	
1	ESD 国際シンポジウム International ESD Symposium	87
2	パラオ共和国における廃棄物 3 R 教育と政府職員の招聘・ 交流について	91
3	ベトナム・フエにおける ESD 調査活動：開発事業の持続 可能性	97
4	ESD 実習：中国の砂漠化土地における持続的な生態系利用	101
5	バングラデシュ（洪水と公衆衛生：part II）	104
6	バングラデシュにおける洪水と感染症の拠点形成	106
7	アフリカ（南部アフリカ・ザンビア国）における環境衛生 と ESD	108
8	2008 ユネスコ青年交流信託基金大学生交流事業 「ESD を通じた持続可能な都市・地域づくり」	110
9	内モンゴル自治区における生命倫理意識調査	115
10	ユネスコ CLC 会議（インドネシア・バンドン）	121
4	平成 20 年度の成果と今後の展望	123